

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	せんだよしひと		
氏名	千田良仁		
所属	一般社団法人明和観光商社/皇學館大学		
役職	代表理事/教授		
活動エリア	全国		
連絡先	住所	〒	
	電話番号		
	メールアドレス	ysenda@hana-meiji.jp	
キャッチコピー	地域資源の発掘・利活用とヒト・モノ・カネのコーディネートによる持続可能な地域づくり		
自己PR	「自然産業の持続的な発展」のためには、自然産業と関連産業、農山漁村と都市、生産者と消費者といった自然産業を取り巻く様々な環境と自然産業との関係を改善していくことを同時的かつ補完的に行う必要があります。地域で問題となっている諸問題も見方を変えれば、地域資源と捉えることが出来ます。「専門家」や「余所者」の視点で、地域に眠っている地域資源を発掘、可視化し、これらの地域資源を地域内外のヒト・モノ・カネをうまくコーディネートすることによって、地域に「生業(なりわい)」を創出し、地域主導で内発型の持続可能な地域活性化の構築を支援します。		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	一般社団法人明和観光商社	https://dmo.hana-meiji.jp/	
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 15%; text-align: center; font-weight: bold;">略歴・受賞歴</div> <div style="flex-grow: 1;"> <p>香川県さぬき市出身</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆2005年～2007年 高島市地域再生マネージャー ◆2007年～2008年 東京都漁協再建計画検討委員(兼再建マネージャー) ◆2009年～ 環境生態系保全活動技術サポート専門家 ◆2009年～ 東京大学 農学生命科学研究科 海洋アライアンス 特任研究員 ◆2011年～ 東京大学 農学生命科学研究科 海洋アライアンス 特任講師 ◆2012年～ 東京大学イノベーション協創事業 プログラム・マネージャー(東京大学農学生命科学研究科 特任研究員) ◆2014年～ 一般社団法人村楽 代表理事 ◆2015年～ 皇學館大学 教育開発センター 准教授 ◆2015年～ 久慈市地方創生アドバイザー ◆2017年～ 明和町地方創生アドバイザー ◆2019年～2021年 吉賀町地方創生アドバイザー ◆2019年～ 皇學館大学 現代日本社会学部 教授 ◆2019年～ 一般社団法人明和観光商社 代表理事 ◆2020年～2021年 三重県南伊勢町地域再生マネージャー </div> </div>			
3. 取組分野			
● 観光	(持続可能な観光、DMOの立ち上げ、運営支援、地域の歴史・文化的資源を活用した観光コンテンツの開発、)		
移住・定住・関係人口	(
● 農林水産業	(農林漁業の6次産業化)		
起業支援	(
まちなか再生	(
● 集落再生	(産学官連携による地域活性化)		
環境	(
その他	(
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家(活用助成)	<ul style="list-style-type: none"> ◆2020年度～21年度 三重県南伊勢町 「地域再生マネージャー事業」 ◆2011年度 徳島県三好市 「地域力創造人材育成支援事業」 ◆2010年度 京都府京丹後市 「地域力創造事業」 ◆2004年度～06年度 岡山県西粟倉町 「観光事業再生アクション」 		



5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 : 持続可能な観光地域づくり</p> <p>(2)対象地 : 三重県明和町</p> <p>(3)事業目的: 令和3年3月より掲げた第二期明和町総合戦略では、人を惹きつける魅力の発信(観光・広域・住みやすさ)などの基本目標に加え、『地方創生SDGsの実現』を横断的な目標とし掲「持続可能なまちづくり」を目指している。SDGsの実現の一步として、「観光振興」の視点から「持続可能な観光地域づくり」を推進。明和町が目指している、持続可能な観光地域づくりとは、世界的な潮流や新型コロナウイルスの感染拡大がもたらす大きな社会変容の中、観光客だけでなく、地域住民にも配慮した取組を推進していくことである。その中で、齋宮や齋王といった明和町の大きな魅力である歴史文化という軸に加え、文化財等をテーマにしたSDGsの取組を推進し、取組の内容や資源について改めて情報発信を行うことにより、新型コロナウイルス終息後のインバウンド観光の回復時にいち早く優良な旅行者を呼び込み、地域経済の発展につなげることが望ましい。本業務では、今後明和町で推進していく「持続可能な観光地域づくり」における人材の発掘および、国際認証を見据えた計画・ガイドラインの策定を行うために令和4年度に作成した「めいわ持続可能な観光地域づくりロードマップ」に基づき事業を推進していくことを目的とする。</p> <p>(4)事業内容:</p> <p>①めいわ持続可能な観光地域づくり計画案の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な観光地域づくり推進における課題、取組の整理 ・持続可能な観光地域づくりに向けたPDCAサイクルの構築 ・人材育成 <p>②持続可能な観光商品の開発</p> <p>③地域一体となった持続可能な観光地域づくりの仕掛けづくり</p> <p>(5)事業による成果:</p> <p>①めいわ持続可能な観光地域づくり計画案の策定</p> <p>持続可能な観光指標に基づいた、地域の持続可能性を多面的に評価分析する仕組みを構築し、国際認証を見据え段階的な計画案を策定するためのモニタリング調査を実施、課題の洗い出し及び効果的な取組の手法を確立。</p> <p>②持続可能な観光地域づくりに向けたPDCAサイクルの構築</p> <p>本事業を推進していくために必要となる指標の選定および効果検証の手法を確立し、継続的にPDCAのサイクルを運用し、データの蓄積、整理。</p> <p>③人材育成</p> <p>持続可能な観光地づくりにおける候補人材の発掘、育成を図ることを目的に、明和町に關係する事業者や地域住民、観光団体などを対象に、地域での「持続可能な観光地域づくり」を検討、学習していく意欲のある方20名程度を集めた研究会の発足をを行い、定期的に意見交換や専門家を招聘したワークショップ等を実施。</p> <p>④持続可能な観光商品の開発</p> <p>研究会などにより発案のあった明和町ならではの「持続可能な観光商品」の実現に向けた取組を行い、4つ以上を商品としての販路を構築。</p> <p>⑤ 地域一体となった持続可能な観光地域づくりの仕掛けづくり</p> <p>地域で行われている取組、まつりなどと一体となり、個々の取組に関して「持続可能」なものとす仕掛けづくりを行うとともに、地域一体となり事業を推進。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>(2)対象地 : ○○県 ○○町</p> <p>(3)事業目的:</p> <p>(4)事業内容:</p> <p>(5)事業による成果:</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 : ○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>(2)対象地 : ○○県 ○○市</p> <p>(3)事業目的:</p> <p>(4)事業内容:</p> <p>(5)事業による成果:</p>
<p>※上記以外の取組内容・実績</p>	